



平成23年7月29日

各 位

上場会社名 川崎汽船株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 朝倉 次郎
(コード番号 9107)
問合せ先責任者 経営企画グループ長 園部 恭也
(TEL 03-3595-5594)

連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年3月期の第2四半期連結累計期間・通期連結業績予想、及び中間配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	530,000	△4,000	△5,000	△2,000	△2.62
今回修正予想(B)	500,000	△15,000	△14,000	△2,000	△2.62
増減額(B-A)	△30,000	△11,000	△9,000	0	
増減率(%)	△5.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	520,358	50,008	42,849	26,329	34.48

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,090,000	6,000	3,000	2,000	2.62
今回修正予想(B)	1,060,000	△5,000	△6,000	2,000	2.62
増減額(B-A)	△30,000	△11,000	△9,000	0	
増減率(%)	△2.8	—	—	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	985,084	58,609	47,350	30,603	40.08

修正の理由

第1四半期は、円高、コンテナ船運賃水準の低迷など下振れ要因はあったものの、国内自動車メーカーの震災からの早期復旧を背景とした自動車船事業の回復もあり、全体として業績は予想通りとなりました。第2四半期は、円高傾向が続くとともに、主にコンテナ船事業で夏場のピークシーズンに向けた運賃水準の修復が想定通りに進まず業績の下振れが予想されるため、上記の通り第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。なお、当期純利益は第2四半期に連結子会社保有の投資有価証券交換益による特別利益の上積みもあり、前回発表並みを確保できる見込みです。

本開示において、第2四半期累計期間の業績修正に伴い通期の業績予想も修正しておりますが、下期の業績は、欧米の景気動向、海運市況、燃料油価格、為替等の不確定要素があるため現時点では前回発表予想から変更しておらず、現在策定中の収益改善・コスト削減の取組みを織り込み、中間決算発表時に公表する予定です。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年4月28日公表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	4.00	—	5.50	9.50

修正の理由

今期の配当につき、連結純利益の配当性向25%を念頭におく方針に変更はありませんが、前述の通り、足元の事業環境の悪化により当社上半期の業績は損失が見込まれるため、中間配当は無配とすべく予想を修正いたします。期末配当につきましては、引き続き未定とさせていただき、通期見通し及び当社財務状況等を総合的に勘案し予想可能と判断されるに至った時点で改めてお知らせすることいたします。

以 上